

第350回
株式会社テレビ新潟放送網
放送番組審議会

- 1 開催日時 平成30年7月23日(月)午前11時00分より
- 2 開催場所 テレビ新潟 会議室
- 3 委員総数 8人 出席委員 8人

出席委員

豊口 協	委員長	若杉 隆平	副委員長
飯塚 智	委員	中島慎一郎	委員
野内 隆裕	委員	大久保千春	委員
田村 明子	委員	柳川かおり	委員

会社側出席者

代表取締役社長	務台 昭彦
常務取締役放送本部長	竹石 尚史
取締役報道制作局長	永田 広道
取締役編成局長兼番組審議会事務局長	宗田 英成
報道制作局次長兼制作部長	羽田 朗
事務局	山崎 学 小野塚由起子 吉田 康宏

4 議 題

1) 番組合評

「NGT48 新章へ

～新メンバー加入！新たな幕開け～

〔放送：平成30年5月26日(土)16:25-16:55〕

(説明：制作部長 羽田 朗)

2) 会社報告

① 6月の視聴者の意見 (報告：番組審議会事務局)

② 講じた措置、公表など定例報告等 (報告：番組審議会事務局)

3) その他

5 審議の概要

会社側からは、3年前の2015年に結成し、地域密着を強く打ち出して活動しているアイドルグループのNGT48を結成当初からTeNYは「夕方ワイド新潟一番」をはじめ、自社番組で追いつけてきた。NGT48については年代や性別の違いによって関心の度合いにばらつきがあるが、今回は2回シリーズで番組を制作し、前編では3月にグループを卒業した北原里英さんを主人公に1期生の3年間を取り上げ、今回の合評番組である後編では新メンバーがドラフトやオーディションで選抜される様子を中心に取り上げることで、より少しでも多くの視聴者にNGT48の活動を知ってもらいたいという意図で番組を制作した、という説明があった。

(委員の意見)

- 普段見ることのできないステージ裏でのメンバーの素の様子が描かれていたことで親しみやすい番組になったと思った。

- オーディションの合格発表の場面は印象深く、見ている方も一体となって感情移入できるシーンだった。
- グループの基本情報をファンでない人にも分かる工夫を番組内でして欲しかった。ドラフトやオーディションの仕組みなどナレーション等でフォローすれば良かったのではないかな。
- NGT48の初々しさ、ひたむきさを感じる事が出来、地域密着して活動していることが伝わる番組だった。
- NGT48ファンにとってはたまらない番組だと思うが、そうでない人にとっては感情移入しにくい番組だった。関心の薄い視聴者へのアプローチへの工夫が欲しかった。
- NGT48側だけでなく、NGT48を楽しんでいるファンの目線を取り上げた番組も見てみたいと思った。
- 人口減少が問題になっている中で、NGT48の地域密着を前面に出していることを伝えることは、若者を中心としてどれだけ影響するのか関心を高く持たれるのではないかな。
- オーディションで選抜されたメンバー19人の内11人が県外出身者、ドラフトでも新潟を希望する人が多かったという流れは非常に重要で大事にするべきことだと思うので、取り上げるべき番組だと思う。
- 新メンバーの個人の努力や特徴などをもっと取り上げて欲しかった。視聴者が番組を見て「推しメン」を作れるような工夫もあっても良かったのではないかな。焦点を絞った番組構成にした方が良かった。
- メンバーの夢が語られていなかったのが残念だった。
- NGT48の活動に対して新潟県民や市民がどのように感じているのかを番組内で見せることも必要だと思う。

6 会社側の報告

1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

6月 …… 81件

2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会(平成30年6月25日)から、昨日(平成30年7月22日)まで、総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

7 審議機関の答申または意見(前回審議会)に対してとった措置

1) 前回第349回審議会では、「華をつないで“市山流”と“古町芸妓”の伝承」を審議いただきました。

委員の意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。

2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧しました。

8 今回の第350回放送番組審議会の公表

1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。

2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。

3) TeNYホームページに議事概要を掲載します。

9 参考事項(委員への配布資料)

- ・6月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・BPO報告 NO.189
- ・民間放送新聞(6/23、7/3、7/13号)

以上